

Mothers

証券コード

3773



株式会社アドバンスト・メディア

平成23年3月期第2四半期 決算説明会資料

平成22年11月9日

＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。

その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

平成23年3月期 第2四半期 業績の概況

取締役 経営管理本部長
立松 克己

1-1. 売上・利益の状況（連結）

第12期を初年度とする中期経営計画の各施策に取り組み、当連結会計年度は「JUI（Joyful—楽しい、Useful—便利、Indispensable—無くてはならない）ビジネスモデルによる売上拡大・安定収益モデルの確立」に向けて事業を推進

単位：百万円

	平成23年3月期 第2四半期	平成22年3月期 第2四半期	対前年 増減額	対前年比	第2四半期予想 (期首)	通期予想
売上	579	574	5	0.8%	630	1,600
売上総利益	328	352	▲24	-6.8%	—	—
粗利率	56.6%	61.3%	—	—	—	—
営業利益	▲208	▲202	▲6	-2.4%	▲225	▲185
経常利益	▲170	▲190	20	10.5%	▲217	▲175
当期純利益	▲145	▲128	▲17	-13.2%	▲214	▲155

- 売上高
- ・医療分野において東邦薬品株式会社と共同で開発した調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムに新機能を追加した新製品「ENIFvoice SP」が当初計画を上回る販売実績で推移
 - ・コンシューマ向け製品として、パソコンに向かってしゃべるだけでリアルタイムに文字化できる音声認識ソフト「AmiVoice® SP」の販売が順調に立ち上がる
 - ・当社連結子会社であるAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）の売上が当初計画を上回る
 - ・金融・製造分野の受託開発案件の獲得が計画通りに進捗せず
- これらの結果、全体での売上高は前年同四半期を上回ったものの当初計画には至りませんでした。

- 損益
- ・受注プロジェクトの峻別、プロジェクトの進捗管理の徹底による粗利益率の管理
 - ・販売費及び一般管理費についても計画以上の水準を達成
 - ・持分法適用関連会社Multimodal Technologies, Inc（米国）の業績が当初予想を上回る
 - ・特別利益として貸倒実績率が改善した事による貸倒引当金戻入益を計上
- これらの結果、当初計画よりも赤字幅を縮小いたしました。

1-2. 分野別売上実績

■ 分野別売上高推移

単位：百万円

	当第2四半期	前年同期	対前年増減比
金融・製造	151	131	15.3%
モバイル・教育・エンタメ	108	148	-27.0%
医療	187	156	19.9%
議事録	56	125	-55.2%
連結子会社（タイ）	68	10	527.3%
合計	579	574	0.8%

金融・製造分野、医療分野、タイが、前年度から売上を伸ばし全体を牽引

金融・製造分野

前期より販売を開始したコールセンタ向け新製品「AmiVoice® Communication Suite」を当連結会計年度の戦略商品と位置付け、営業活動を推進いたしました。受託開発案件の獲得が計画通りに進まなかったものの、売上高は前年同四半期を上回りました。

モバイル・教育・エンターテインメント分野

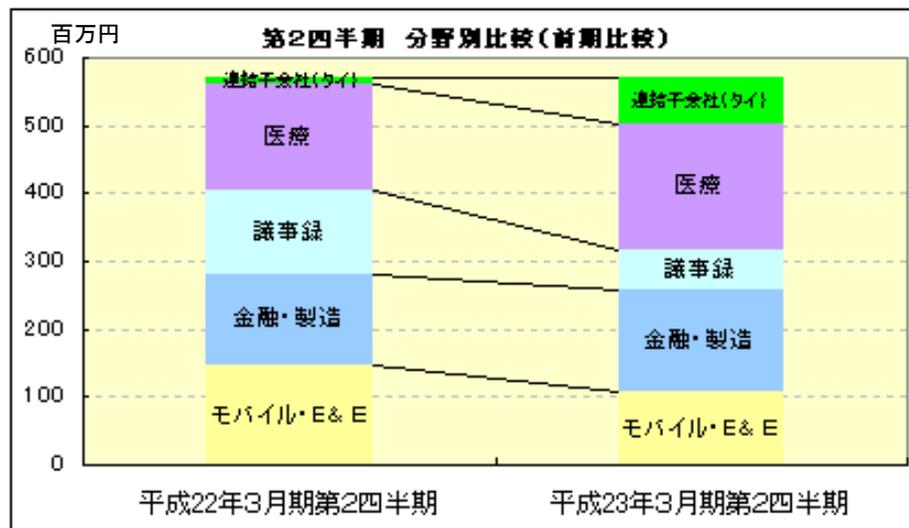
モバイル分野では、iPhone向けアプリ「音声認識メールST」（スタンドアロン版）をバージョンアップ。教育分野においては、新たに株式会社ニチイ学館が運営するeラーニング「まなびネット/Webカレッジ」の「なりきりトラベル英会話」講座に当社音声認識技術が採用されました。

医療分野

東邦薬品株式会社と調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムに新機能を追加した新製品「ENIFvoice SP」が当初予想を上回る販売実績で推移いたしました。一方、他の主力製品の販売は計画を下回る実績で推移いたしました。

議事録分野

議事録分野においては、第2四半期までに新たに5件（愛知県豊川市議会、富山県黒部市議会、鹿児島県南さつま市議会・岡山県真庭市議会、広島県江田島市役所）の案件を獲得し、納入実績の累計を65件に伸ばしました。



1-3. 連結損益計算書 (P/L) 比較

(単位：百万円)

	当第2四半期	前年同期	対前年増減額	対前年比
売上	579	574	5	0.8%
原価	251	222	29	13.0%
売上総利益	328	352	▲24	-6.8%
利益率	56.6%	61.3%	—	—
販売管理費	536	555	▲19	-3.6%
研究開発費	98	89	9	10.1%
営業利益	▲208	▲202	▲6	-2.4%
経常利益	▲170	▲190	20	10.5%
当期純利益	▲145	▲128	▲17	-13.2%

単体での粗利率は前年同等レベルを維持。タイの低粗利案件の影響により、全体では粗利率が低下。

研究開発費を計画通り増加させながら、人件費の抑制、地代家賃の削減等により前年同期よりも削減。

持分法適用関連会社Multimodal Technologies, In (米国)の業績が寄与。

貸倒実績率が改善した事による貸倒引当金戻入額を特別利益に計上。

1-4. 連結貸借対照表 (B/S) 比較

(単位：百万円)

	当第2四半期	平成22年3月末	増減
流動資産	1,505	1,760	▲255
固定資産	587	574	13
資産合計	2,093	2,334	▲241
流動負債	203	296	▲93
固定負債	10	6	4
負債合計	213	302	▲89
資本金	4,585	4,585	0
純資産合計	1,879	2,031	▲152
負債純資産合計	2,093	2,334	▲241
自己資本比率 (%)	89.7	90.2	—

現金の減少
 売掛金の減少
 仕掛品の減少

買掛金の減少

1-6. 連結キャッシュフロー計算書 (C/F) 比較

(単位：百万円)

	当第2四半期	前年同期	対前年増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲156	▲78	▲77
投資活動による キャッシュ・フロー	▲405	▲350	▲55
財務活動による キャッシュ・フロー	▲0	407	▲407
現金および現金同等物 に係る換算差額	▲15	▲8	▲7
現金および現金同等物 の増減額	▲577	▲31	▲546
現金および現金同等物 の期末残高	640	1,353	▲713

前期末に大型ソリューション案件の売上が集中。同案件にかかる仕入債務の支払いが今期中に発生。

定期預金の預入（預入期間3ヶ月超）

新株予約権の行使による収入

その他下記を所有

〔定期預金 400百万円（3ヶ月超）
有価証券等 350百万円〕

1-6. 数值推移

	第14期 平成23年3月期		第13期 平成22年3月期	第12期 平成21年3月期	第11期 平成20年3月期
	第2四半期 実績	通期計画	実績	実績	実績
売上高 (単位：百万円)	579	1,600	1,247	1,090	2,688
売上高総利益率	56.6%	58.6%	59.5%	56.3%	33.4%
販売管理費 (単位：百万円)	535	1,122	1,099	1,210	2,186
営業利益率	-35.7%	-14.0%	-28.5%	-54.5%	-48.5%
当期純損失 (単位：百万円)	▲145	▲214	▲242	▲527	▲3,619
自己資本比率	89.7%	-	87.0%	86.9%	76.5%

平成23年3月期 第2四半期 事業の概況

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

1. 分野別の現況

AmiVoice®は着実にライセンス数が増加し、一般消費者、企業で実用化が加速している



3,300ユーザ以上導入
累計13,000ライセンス

- 放射線／病理画像レポート
- 電子カルテ
 - ・大病院 ・診療所
 - ・歯科クリニック
 - ・調剤・薬剤等



- 次世代コールセンターソリューション
 - ・オペレータ支援 ・モニタリング
 - ・通話録音書起こし ・注意事項説明
 - ・IVR



- データ入出力、記録
 - ・作業報告、日報
 - ・点検、設備診断
- 顧客対応
 - ・電話番号自動案内（内外線）
 - ・受付案内

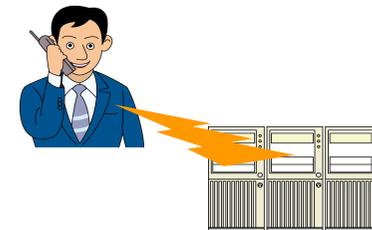
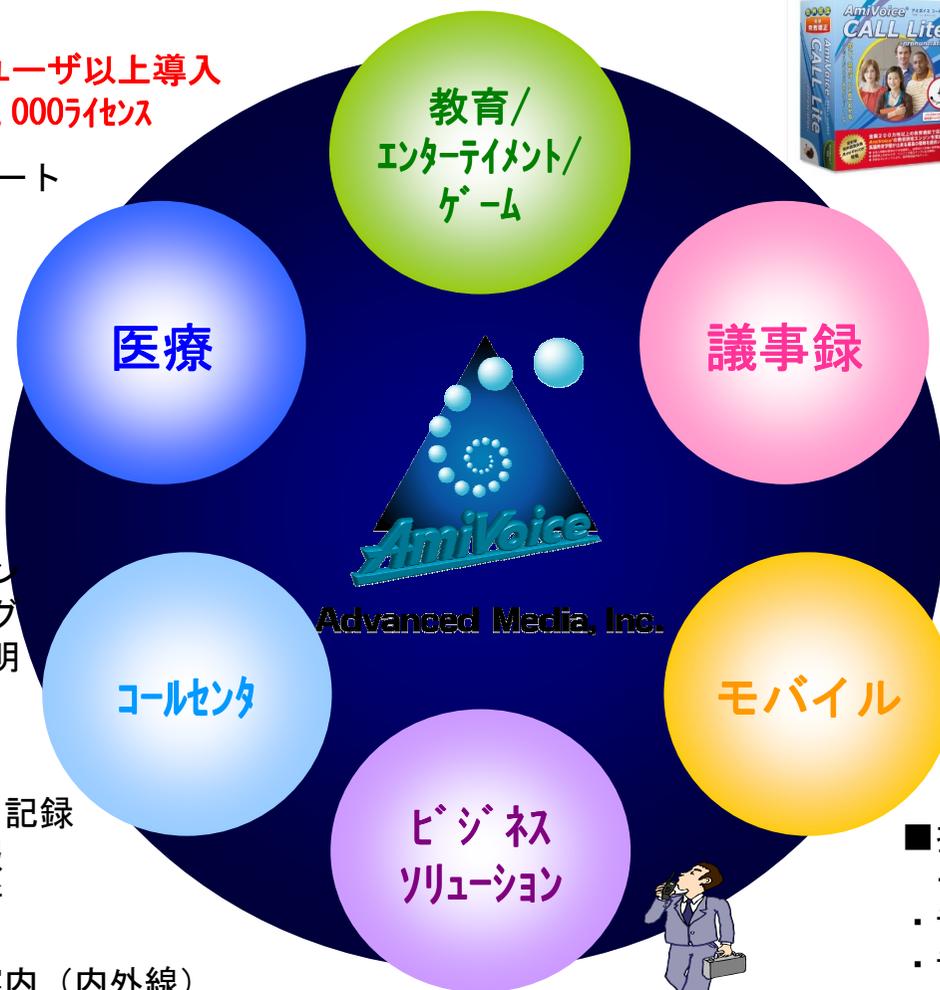
金融・産業ユーザ 約350社 7,400ライセンス

- 声紋認証
- コンプライアンス対応等
- 株主総会等支援等



- 教育ソフト（英語発音矯正）
- ゲームソフト

累計281,119ライセンス



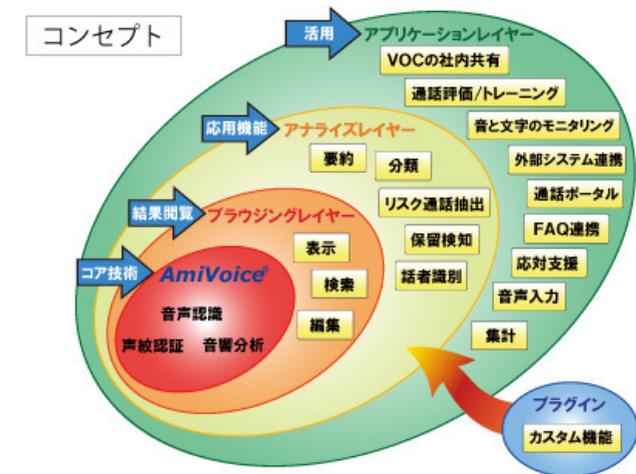
- 議会議事録作成
- 講義、講演録作成

自治体・民間、累計65施設
累計1,395ライセンス

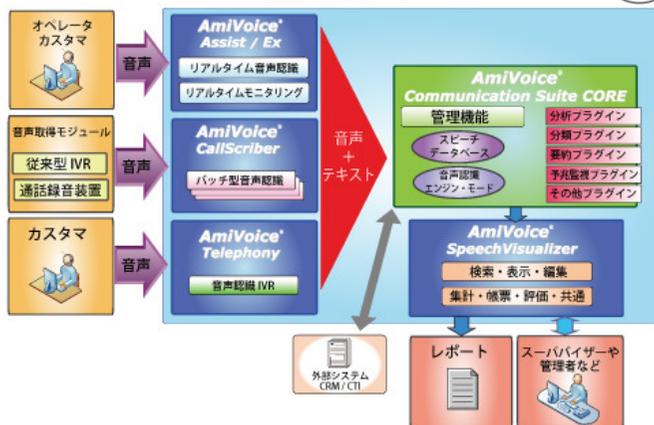
- 携帯DSRによる一般消費者向けモバイルサービス
 - ・音声入力メール ・乗換え案内
 - ・音声入力付箋 ・地図検索
 - ・ゲーム

「AmiVoice® Communication Suite」

コールセンタ向けソリューションの受託開発案件が計画通り進まなかったものの、「コールセンターアワード2010」で最優秀テクノロジー部門賞を獲得するなど、確実に実績が評価されつつある。（受賞は大同生命保険株式会社）



製品構成イメージ



野村総合研究所の対話要約&モニタリングシステム 「TRUE TELLER VOICEダイジェスト」と連携

コールセンタの電話対応の要約文を自動作成、業務の大幅効率化を実現



最優秀
テクノロジー部門賞

大同生命保険株式会社が受賞

『音声認識システム』と『苦情確率モデル』を融合したコールセンター苦情把握体制の強化
～お客さまの「生の声」を捉える～

物流・製造・流通現場

銀座コーギーコーナーで物流現場での音声認識を使用した仕分けシステムが稼動



音声認識キーボード入力システム「AmiVoice® Keyboard」を新発売

IHIエスキューブの倉庫管理システムiS-WMSに「AmiVoice® Keyboard」を標準搭載し、簡単に数字・英字データ入力がハンズフリーで可能に

モバイル分野

声で文章作成ができるiPhone向けアプリ「音声認識メールST」をバージョンアップ。

iOS4 (iPhone 4, 3GS) / iPadに向けて使い勝手を大幅に向上



富士通株式会社製FOMA®端末「らくらくホン7」に当社音声認識技術AmiVoice®を提供

業界で初めて、使いかた検索のためのスタンドアロン型自由発話認識を実現。これにより起動が早く、電波環境を気にせず、自由にしゃべるだけで音声検索することを可能に。

教育・エンターテインメント分野

株式会社ニチイ学館がインターネット上で学習するeラーニング「まなびネット/Webカレッジ」の「なりきりトラベル英会話」講座の発音評定に当社音声認識技術AmiVoice®が採用



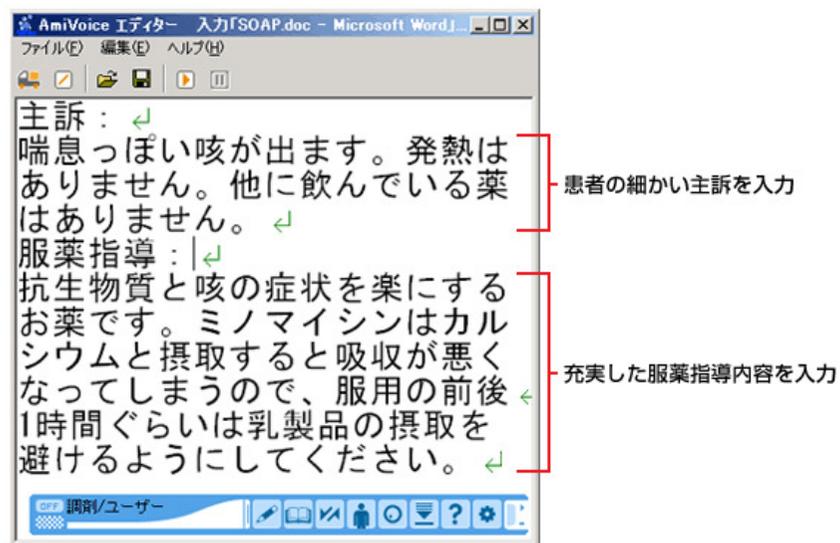
いろいろ学べる。いつでも学べる。

まなびネット

URL : <http://www.e-nichii.net/course/travel/features.html>

音声認識技術AmiVoice®を活用した音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP」新発売

医薬品総合商社東邦薬品(株)との共同開発品の販売を開始し、当初計画を上回る販売で推移



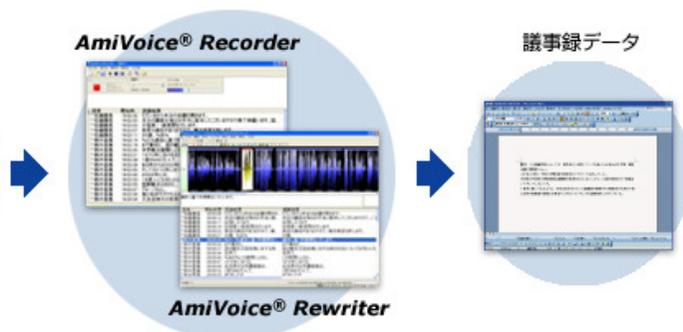
音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP」の特徴・機能

- 音声認識技術AmiVoice®による音声入力
 - ・ユーザー毎のログイン使用により、個人の発話の癖や音声の特徴を個別に学習し、使用を重ねる度に音声認識精度がアップしていきます。（音響学習機能）
 - ・単語登録機能で好きな略語等を登録できます。
 - ・テンプレート機能で長文や定型文を登録できます。
- 疾患別服薬指導ナビゲーター機能
 - ・服薬指導時の確認事項や薬歴作成時の文例などお好みの文章を1文ずつ整理して登録できます。
 - ・登録された文章は1文でも複数文同時でもマウス操作で簡単に薬歴作成画面に移動できます。
 - ・音声による薬剤情報検索が可能です。「警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、併用禁忌、重大な副作用」の6項目について添付文書の情報が検索できます。お手持ちの資料やイラストをナビゲーターに載せることができます。ご自分用の確認資料に、患者様に見せての服薬指導用にと色々と使用できます。
 - ・高血圧や糖尿病など標準的な18疾患について文例やリンク資料があらかじめ登録されています。
- 印刷機能
 - ・主なレセコン各社の薬歴簿様式に対応しています。
 - ・発話による印刷開始行の指定で、時系列的な薬歴印刷ができます。

議事録分野

第2四半期までに新たに5件（愛知県豊川市議会、富山県黒部市議会、鹿児島県南さつま市議会・岡山県真庭市議会、広島県江田島市役所）の案件を獲得し、納入実績の累計を65件に伸ばす。

マイクロフォンなどの
音声録音装置



今後は、提携速記会社等と連携をしていき、議事録作成自体を請け負い、完成した議事録を納品するサービスを強化していく予定

その他

コンシューマー向け音声認識ソフト「*AmiVoice® SP*」を新発売。販売が順調に立ち上がる。

「*AmiVoice® SP*」は、コンシューマ向けにしゃべるだけで簡単に文字入力できる音声入力ソフト。使えば使うほど認識精度が向上し、事前の声の学習は一切不要なので、いつでも誰でもすぐにご利用いただけます。キーボード入力と比較し2~3倍早く入力することが可能。（※当社調べ）

各種報告書や電子メールの作成などのビジネス用途、チャットやブログなどのプライベートでの使用など、入力作業の効率化を実現。



2. 中期経営計画の進捗

フェーズ3(2009年度後半～2010年度)

音声認識プラットフォーム化による売上・収益拡大安定基盤の確立

■一般消費者、企業向けの『ボイスデータサービス』事業の導入・展開

※「ボイスデータサービス」とは

声(ボイス)を文字(データ)化し、コンピュータ処理できるようにするサービス。基盤システムは声を一次処理する音声認識システムとその結果を人が確認・修正し、高精度のデータを迅速に作成する。

声が価値を生み出すサービス事業

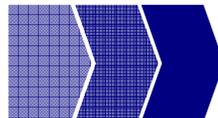
★教育・エンタメコンテンツサービス

★音声入力メールサービス

★モバイルサービス(ボイステキストサービス、Twitterサービス、Voice Mail to Textサービス)

溢れる声をデータにするサービス事業

★ボイスデータサービス



医療・会議録・コールセンター・モバイル等の分野における音声による文章記録サービス。サイバークラウドサービスに利用される。

声が価値を生み出すサービス事業と、溢れる声をデータにするサービス事業へ

KEY SUCCESS FACTORS

第14期トピックス

①既存ソリューションとプロダクトの拡販

- ・サービス型保守とアクティブ営業の導入
(パートナー企業との連携による)

東邦薬品との業務提携

- ・薬歴データ入力支援ENIFvoice(OEM販売)

②ソリューション開発を経て新たな ライセンス販売に繋げる構造の確立

- ・開発力の向上と組織能力の向上

日立グループとの関係強化

- ・製造・流通・金融分野でのSI

③サービス型ライセンスビジネスの追加

スマートフォン向け取組強化

- ・iPhone4, iPad「音声認識メール」導入
・ドコモマーケット「音声認識メモ」導入

④DSR利用料徴収ビジネスの追加

- ・携帯端末、iPhone、スマートフォン等

CCIとの連携

- ・医療向けドキュメントサービスの導入

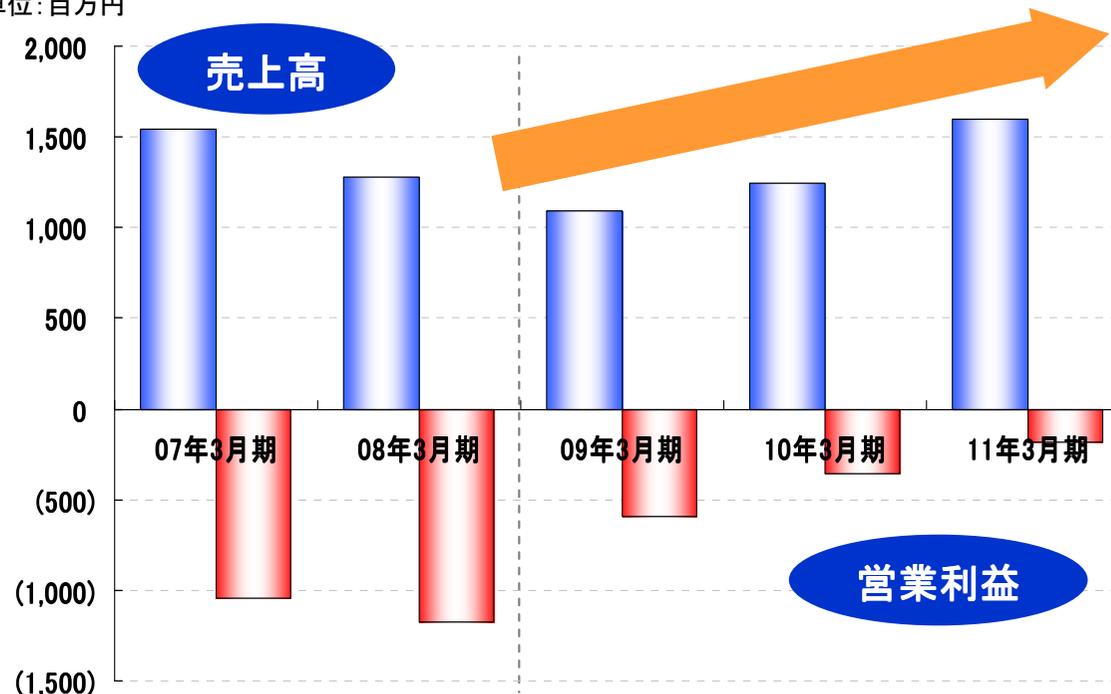
⑤ボイスデータサービスの導入と展開

2-3. 売上高・損益目標

	2008年3月期 (単体実績*)	2009年3月期 (連結実績)	2010年3月期 (連結実績)	2011年3月期 (予想)
売上高	1,276	1,090	1,247	1,600
営業利益	▲1,177	▲595	▲356	▲185
売上成長率	▲17.0%	14.5%	14.4%	28.3%

*子会社3社を清算、売却したため前々期は、単体と持分法適用会社Multimodal Technologyで連結を形成する。但し、ここでは、数値上のインパクトが少ないため、単体ベースの数値を計上しています。

単位: 百万円



- 当初2009年3月期をスタートとする3年間の売上目標について、経営環境の変化に伴い売上高目標を修正
- 2011年3月期も赤字継続だが、確実な売上伸長構造の構築を優先

3. 今後のビジネス展開

ソフトコミュニケーション

人が機械に合わせ操作するのではなく、人が自然にその意思を機械に伝達できる世界を「ソフトコミュニケーション」と定義します。その「ソフトコミュニケーション」の実現が基本方針です。

ソフトコミュニケーション時代への第1ステップ(SCE1)

声
が
価値を
生み出す
サービス事業

- ソリューション開発・販売からプロダクト開発・販売＋高付加価値能動型保守サービスの展開
- サービス型ライセンスビジネス
- DSRクライアント&サーバ使用料徴収ビジネス

中計の3年目
↓
SCE1年目

ソフトコミュニケーション時代への第2ステップ(SCE2)

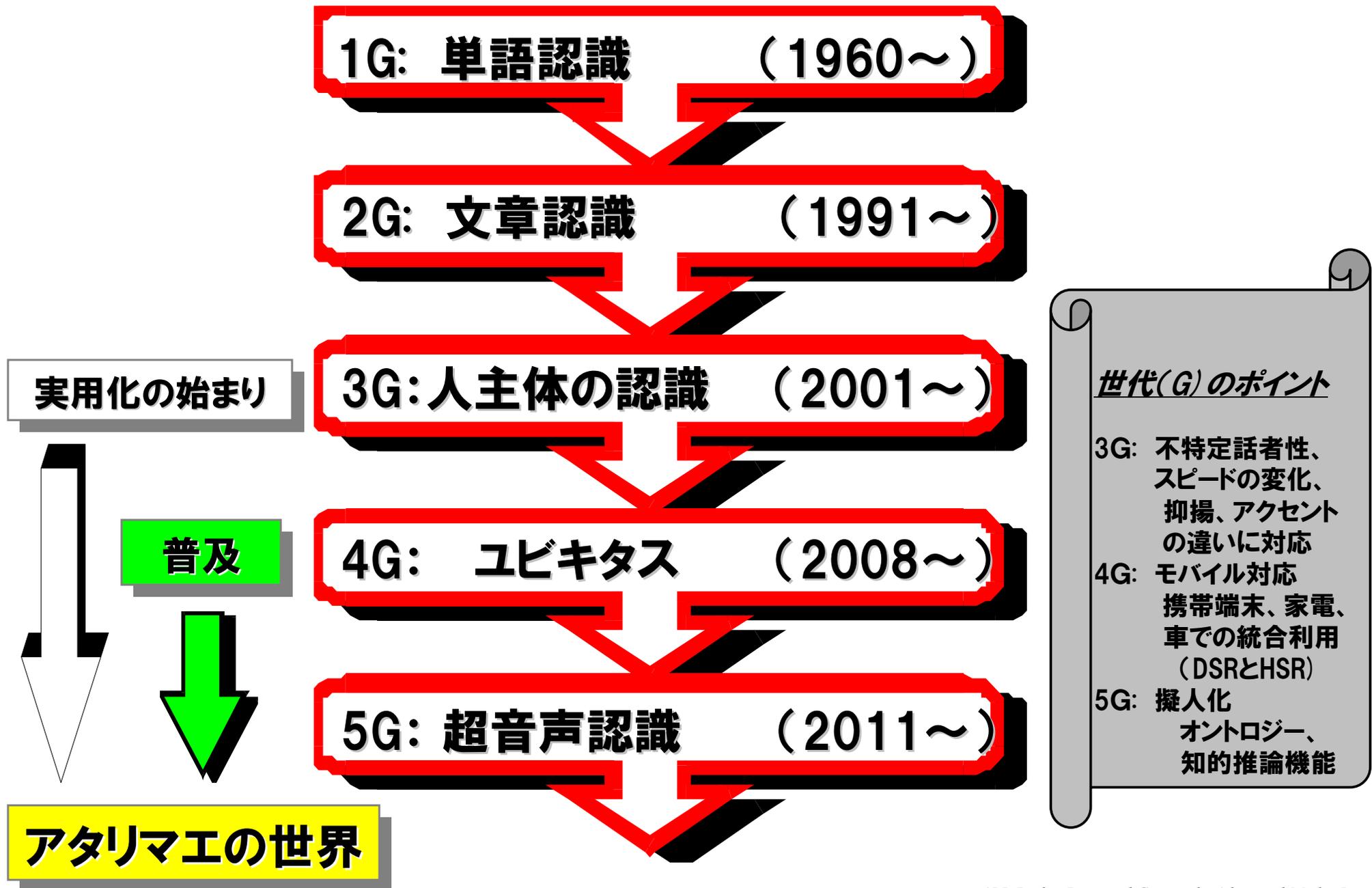
溢れる声
を
データにする
サービス事業

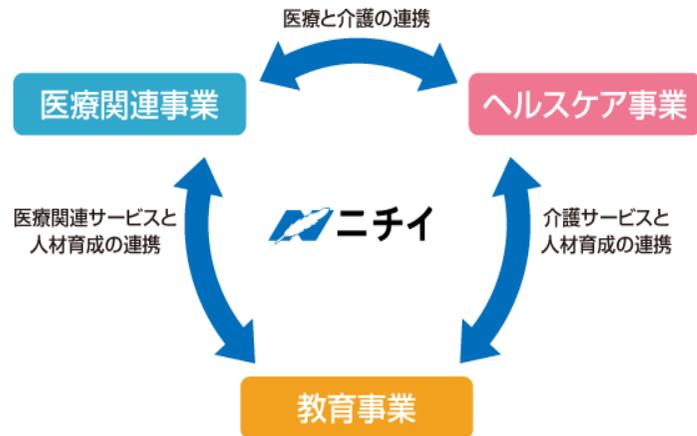
- ボイスデータサービス(VDS)事業
- 電子カルテVDS、議事録VDS、CRM-VDS、モバイル記録VDSなど

ソフトコミュニケーション時代への第3ステップ(SCE3)

第5世代の音声認識技術(擬人化)をベースとしたHCIの世界へ!

グローバル化





ニチイの持つ専門知識と人を中心にした「人間力」



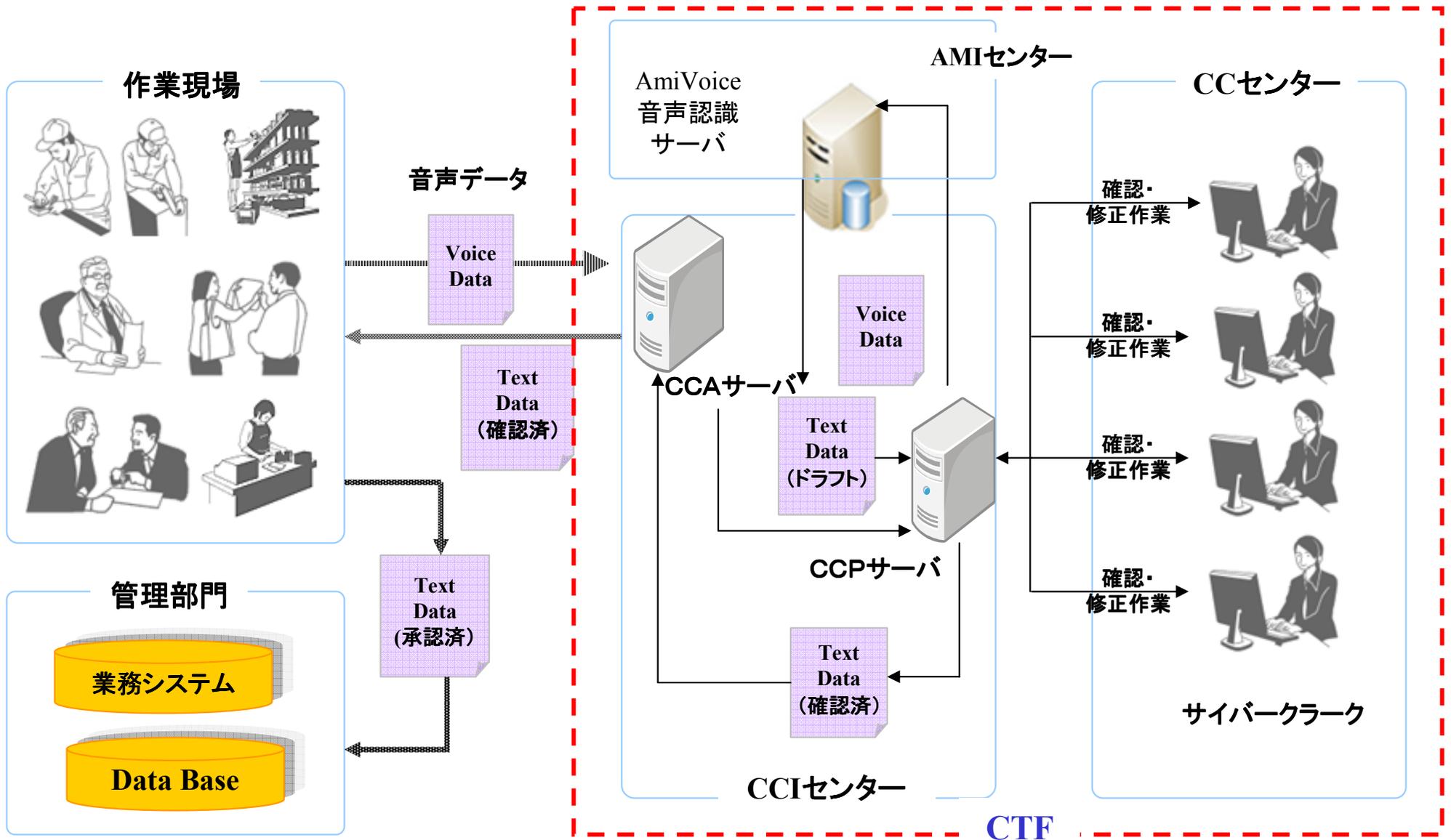
【サイバークラーク研究所】



AMIの持つ音声認識を中心にした「IT」力

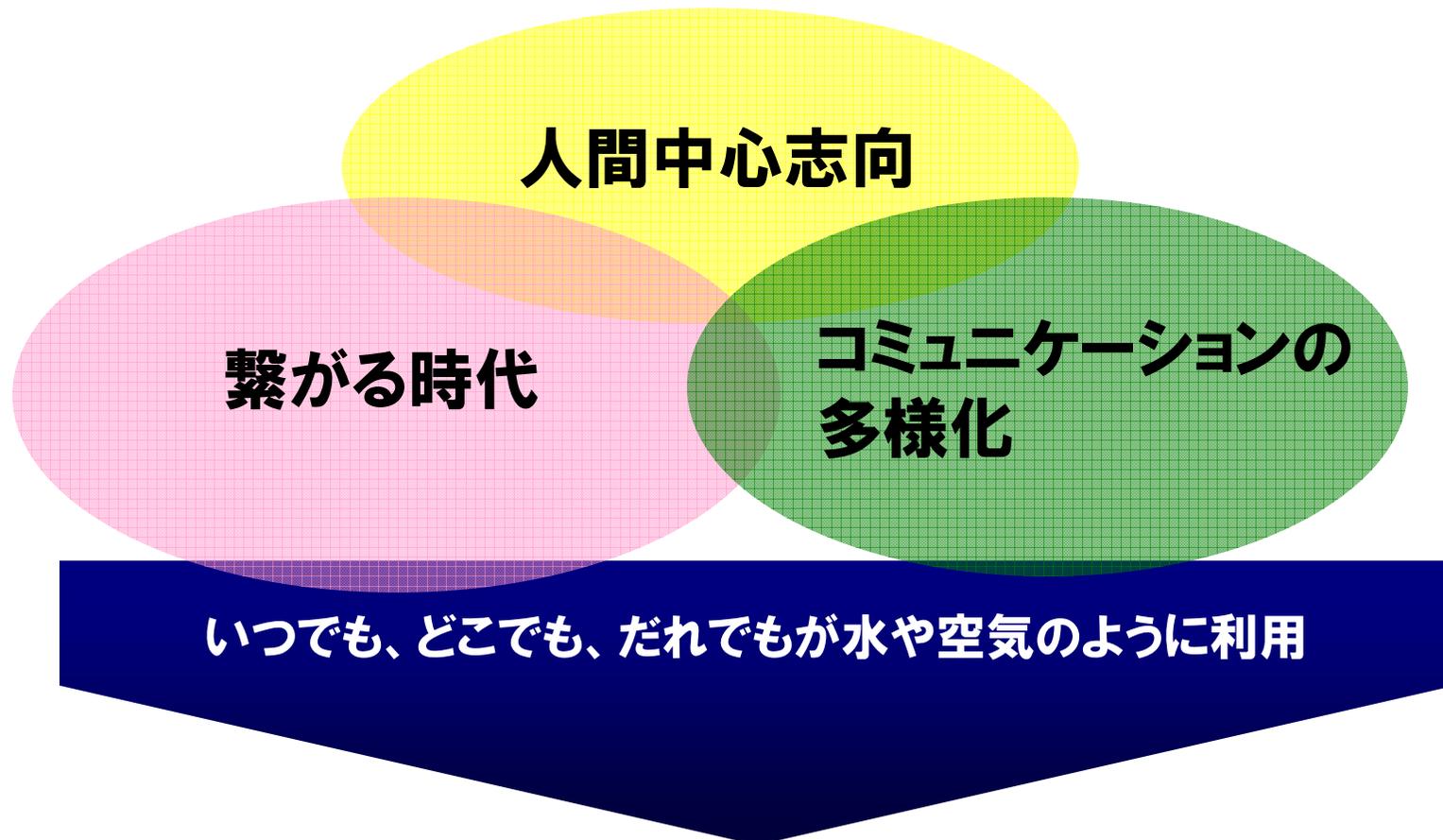


Advanced Media, Inc.



4. 課題とリスク

■企業およびユーザを取り巻く環境の変化



クラウド型のソフトコミュニケーションの時代へ！

Global での競合性

Google・・・音声検索、音声翻訳等強化

Apple・・・音声認識技術の新興企業SIN買収(バーチャル個人アシスタント)

Nuance Communication・・・音声認識ソフトのMacSpeech買収

日本における競合性

NEC・・・議会議事録を中心に展開

フュートレック・・・モバイルにおいて展開

その他小規模ベンチャー・・・単発商品展開



サイバークラークモデル
(超音声認識事業)
による競争優位性

お問合せは

株式会社アドバンスト・メディア
経営管理本部 経営企画グループまで

TEL : 03-5958-1031

FAX : 03-5958-1032